



平成 30 年 10 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社リンガーハット
 代表者名 代表取締役社長 秋本 英樹
 (コード：8200、東証第 1 部、福証)
 問合せ先 取締役管理部担当 小田 昌広
 (TEL. 03-5745-8611)

平成 31 年 2 月期第 2 四半期連結業績予想と実績値との差異、通期連結業績予想の修正
 並びに配当予想の修正に関するお知らせ

平成 30 年 4 月 13 日に公表した平成 31 年 2 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値と本日公表の実績値との差異並びに通期連結業績予想数値の修正について、下記のとおりお知らせいたします。また、平成 31 年 2 月期の 1 株当たりの第 2 四半期末配当及び期末配当予想の修正につきましても、併せてお知らせいたします。

記

1. 第 2 四半期（累計）連結業績予想数値と実績値との差異並びに通期連結業績予想数値の修正について

(1) 平成 31 年 2 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値と実績値との差異

(平成 30 年 3 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 23,800	百万円 1,520	百万円 1,470	百万円 640	円 銭 25.73
今回実績 (B)	23,572	1,082	1,047	256	10.25
増減額 (B - A)	△228	△438	△423	△384	
増減率 (%)	△1.0	△28.8	△28.8	△60.0	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 2 月期第 2 四半期)	22,762	1,410	1,370	631	25.38

(2) 平成 31 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正

(平成 30 年 3 月 1 日～平成 31 年 2 月 28 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 48,300	百万円 3,370	百万円 3,250	百万円 1,350	円 銭 54.28
今回修正予想 (B)	48,000	2,860	2,785	1,000	40.21
増減額 (B - A)	△300	△510	△465	△350	
増減率 (%)	△0.6	△15.1	△14.3	△25.9	
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 2 月期)	45,682	2,825	2,782	1,333	53.60

(3) 実績値との差異及び通期連結業績予想数値の修正理由

当社グループは野菜をはじめとする食材の国産化や新業態店舗の出店などにより、食の「安全・安心・健康」に継続して取り組んでまいりました。また、「全員参加で企業体質を改革しよう」をスローガンに、強固な企業体質づくりとともに、企業価値向上に努めてまいりました。

しかしながら、下記の理由により、前回予想を下回り、差異が発生する結果となりました。

- ① 天候不順・台風の影響等による売上高の計画未達成。
- ② 継続的な採用難やパートタイマー・アルバイトの時給の上昇による人件費の増加。
- ③ 広告宣伝費等の販売費や水道光熱費の上昇及び税金費用の増加。

第3四半期以降につきましては概ね前回予想通りに推移する見通しですが、第2四半期（累計）連結業績実績値の減少を補えず、通期連結業績予想数値の前回公表値を下回る見通しとなりました。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 16.00
今回修正予想	—		—	7.00	12.00
当期実績	—	5.00	—		
(ご参考) 前期実績 (平成30年2月期)	—	9.00	—	7.00	16.00

(2) 修正の理由

当社は、効率的な経営体制の整備と積極的な店舗展開により、継続的かつ強固な収益基盤を確立することで、株主の皆さまへ安定した利益還元を行うことを基本方針としております。

本日公表しましたとおり、当社は第2四半期連結業績及び通期業績予想を下方修正しました。当社の財務状況等を勘案し、当事業年度の配当金を第2四半期末及び期末ともに修正いたします。

(注) 本資料に記載されている業績予想数値等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいているものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上